

掲載しきれないイベントの写真などは、糸満市の「フェイスブック」「インスタグラム」「ライン」に掲載しています。

Instagram



フェイスブック



ライン



旬の話題をお届け!

と|れ|た|て



い|と|れ|ぽ



\\ すごいぞ糸満中学! // 各種大会・コンクール受賞報告

12月27日、糸満中学校生徒ら関係者が糸満市役所を訪れ、各種大会・コンクールなどの受賞報告をしました。この日は、スピーチコンテストをはじめとする7つの賞などで合計10人の生徒が訪れました。高円宮杯第73回全日本中学校英語弁論沖縄県大会で最優秀賞を受

賞した東恩納沙奈さんは「全国大会では、英語のスキルが高い子がたくさんいました。予選は通過できなかったけど来年も挑戦したいです」と話しました。各種受賞報告を受けた当銘市長は「文化、音楽、平和にスポーツまで皆さんの素晴らしい活躍を新聞などで目にしていました。本当におめでとうございます。これからも皆さんの活躍を期待しています」と激励しました。

\\ U-15バスケットクラブチーム // 県大会優勝および全国派遣報告

バスケットボールクラブチームのSwishおよび23Academyに所属する市内中学生が関係者らとともに糸満市役所に訪れ、県大会優勝報告および全国大会派遣報告をしました。女子チームSwishを代表して秋吉寛奈さんは「全国では、1つ1つの戦いを大事にして全国制覇したい。応援よろしくお願いします」と、男子チーム23Academyを代表して新垣羽玖さんは「3年生メインのチームなので、応援や試合に出るチャンスがあれば全力で頑張りたい」と話しました。



\\ 糸満市初となる寄付 // 企業版ふるさと納税による寄付

1月24日、企業版ふるさと納税として株式会社RICKAの大城拓代表取締役から12万円の寄付をいただきました。「これまで被災地などを訪問してきて、命を守る情報の必要性を感じていた。糸満市出身として何か貢献できることはないか考えていたところ、この制度を知って寄付に至りました。防災関連といった市民の命を守るため有効に活用してほしい」と話しました。



\\ 市単独では今年が最後の競り // 2022年初競り勢い良く

糸満漁港北地区の県水産公社地方卸売市場で1月4日、2022年の初競りが開かれました。初競りに先立ち、市場の職員や仲買人、行政関係者らが操業の安全や豊漁を祈願。7時30分、競りの開始を告げる鐘の音とともに、仲買人たちが並べられた鮮魚を次々と競り落とし、落札を告げる威勢の良い声が市場を活気づ

けました。この日は、キハダマグロが通常相場2倍程度となるキロ単価10,000円で競り落とされ、同じ日に行われた県内のマグロの競り落とし価格の最高値をつけました。キハダマグロを競り落とした高江洲鮮魚の高江洲馨代表取締役社長は「糸満市の市場としては今年が最後の競りなので、カリー(嘉例)をつけたかった。軽石問題や漁師が海にでれないといったこともありますが、買い手側も元気よく販売していかないといけないので、いい1年にしたい」と話しました。



\\ うれしい初優勝! // 兼城パイレーツが県大会優勝報告

12月24日から27日まで開催された第141回学童野球県大会・第38回古賀杯争奪学童軟式野球大会・第3回JA共済旗争奪学童軟式野球大会で優勝した兼城パイレーツの関係者らが市役所を訪れ、優勝の報告をしました。チームを代表してキャプテンの大城悠さ

んは「これまで県大会ではいい結果が出せなかったけど、一つの目標に向かって一致団結して優勝できたのでうれしいです。中学に向けて頑張って練習したいです」と優勝の喜びを報告しました。報告を受けた当銘市長は「優勝おめでとうございます。優勝は皆さんの実力もそうですが、周りのサポートも原動力となっていると思います。中学という次のステージでも頑張ってください」と激励しました。